

隠退記念旅行記（14） あとがき

6月10日、晴天、静寂な大三島。目的を持って元気に働く、若いお二人に会えて嬉しかったです。この島には大山祇神社（おおやまづみじんじゃ）があり、海の神を祀っているとのこと。海の神に敬意を表して、大三島には漁港がありません。最後に大三島で温泉に入って、魚を食べようか、と思っていましたが、魚好きとしては魚港がないとなると…、急に里心が出て来てしまいました。

帰りのバスの中でつい居眠りをしてしまい、福山駅に着いた時、あわてて飛び降り、その時、カメラをすっかり忘れてしまっていたのです。福山は「バラの町」ということで、駅前にきれいなバラの花壇がありました。さっそく写そうとカメラを探したところ、どこにもありません。下りたバスはもう出た後でした。バス会社にお願いしましたが、カメラは出てきませんでした。福山のバラは色あせて見えてしまいました。

カメラのことはがっかりでしたが、楽しかった旅の思い出は消えません。思い起こせば、よくぞ、皆さまが温かく迎えて下さったものだ、感謝の思いでいっぱいです。これは最大の収穫です。また、書くことによって、心の中に深く留めることができたし、また、調べなおして、更に深く知り得たものもありました。今回の旅行は夫の胃癌完治を感謝し、急遽出発を決めたわけですが、すべて満たされて、10日の夜には帰ることが出来ました。

留守をしていた家は無事でした。孫にベランダの鉢の水やりを頼んでいたのですが、これも完璧にできていました。バラの花はほとんど終わっていましたが、元気でした。孫に、「あなた一人でやってくれたの？」と聞きますと、「お兄ちゃんとやった」ということでした。わたしは二人にアルバイト料を支払うことになりました。なかなか賢い孫です。ワークシェアリングをして、孫にとっては大資本家である私から、二人分の労賃をゲットしています。もちろん私はアルバイト料を折半しろとは申しません。甘い祖母ですから。水やりのお願いも楽しい結果となりました。

そろそろ夏が近づきました。夏の自然が私を呼んでいます。下の写真は、前に、清里に行った時、山の向こうにかすかな富士山の姿を見つけて写しました。朝ドラの舞台です。この夏も、大自然に浸りたいです。毎日休みなのに、さらに「夏休み」モードを楽しむ予定です。

